

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ西ノ京教室			
○保護者評価実施期間	R7年1月12日		～	R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数)	20人
○従業者評価実施期間	R7年1月20日		～	R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な経験を持つ職員が在籍していることで、より多方面から子どもたちの支援を行うことができている。	「子どもを真ん中」にの視点で、普段よりカンファレンス等を行い支援に活かしている。冰山モデルの考察が職員の中に定着しつつある。	各職員が目的意識を持った研修受講を行い、より専門性の高い支援が提供できるようにする
2	子どもたちの特性を理解し、日々支援を行っている。アンケートの中でも、通所を楽しみにしてくれている子どもたちが多くはその部分が影響していると考えられる。	集団療育の中でも一人ひとりのお子さんを見て関わっている。「子どもたちの安全基地になる」ことを第一に考え、まずは認める関わりを行っている。	プログラム内容をより充実させるなど、より子どもたちの楽しみにつながる支援を検討していく
3	土曜日・祝日の支援を実施することで、季節を感じるプログラム(田植え、稲刈り、芋掘りなど)などを盛り込んでいる。	様々な経験の場を提供できるよう意識している。	地域との関わりなどを含め、より多くの経験が提供できるよう地域や他事業所との連携を図っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の中には、プログラム内容についてお子様の困り感や苦手をより支援するプログラム(運動など)を期待されている方がいらっしゃる事がアンケートより理解できた。	集団での活動を中心とする日々のプログラムであり、その中で子どもたちが活動することを主としている。	運動系プログラムのご希望については理学療法士を中心に専門的支援を実施することでよりよい支援となると考えられる。
2			
3			